

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課： 道路局 高速国道課

担当課長名： 横田 耕治

事業名	中部横断自動車道 よしはら ますほ 吉原JCT～増穂		事業区分	高速自動車国道	事業主体	日本道路公団
起終点	自：静岡県静岡市清水大字吉原 しずおか しみず よしはら 至：山梨県南巨摩郡増穂町青柳町 みなみこま ますほ あおやぎまち			延長	5.9 km	
事業概要	中部横断自動車道は静岡・山梨・長野3県を最短ルートで結ぶとともに、東名・中央・上信越自動車道とネットワークを形成することにより、沿線地域の産業・経済・文化・観光等の発展及び振興に資する路線である。					
H11年度事業化	H8年度都市計画決定		H-年度用地着手		H13年度工事着手	
全体事業費（有料）	4,341億円		事業進捗率	0%	供用済延長	- km
計画交通量	6,600～7,800台/日（有料）、15,300～21,400台/日（無料）					
費用便益分析結果（有料）	B/C (事業全体) 1.61 (残事業) 1.62	総費用 (残事業)/(事業全体) 2,630/2,641億円 (事業費：2,496/2,507億円) 維持管理費：134/134億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 4,258/4,258億円 (走行時間短縮便益：3,847/3,847億円) (走行費用減少便益：311/311億円) (交通事故減少便益：100/100億円)	基準年 平成15年度		
費用便益分析結果（無料）	B/C (事業全体) 2.37 (残事業) 2.38	総費用 (残事業)/(事業全体) 2,557/2,567億円 (事業費：2,480/2,491億円) 維持管理費：77/77億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 6,089/6,089億円 (走行時間短縮便益：5,517/5,517億円) (走行費用減少便益：416/416億円) (交通事故減少便益：157/157億円)	基準年 平成15年度		
事業の効果等（有料）	<ul style="list-style-type: none"> 指標1（高速バス等長距離自動車交通の利便性が高まる） 指標2（新幹線・空港等幹線交通網への利便性が高まる） 指標3（高度な医療施設までの搬送時間が短縮される） <p style="text-align: right;">他12項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	この道路は国土の東西軸である東名と中央の両自動車道を中間で結ぶ唯一の高速幹線道路であり、想定される東海地震や富士山噴火など大規模災害時における東名高速など高速幹線交通網の寸断等の緊急時には、両路線相互の代替性を確保する路線として、国家的な見地から必要不可欠である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	将来の社会経済状況の変化に対応した将来交通需要、及び、長期的な道路計画の検討に資する2050年までの推計を目的に、前提となる社会経済指標等を見直した結果、全車の総交通需要を下方に修正。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在、中心杭設置中。一部JCT部工事中。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	今後も引き続き中心杭設置の推進を図るとともに地元設計協議に着手する予定。					
施設の構造や工法の変更等	新技術・新工法や現地の状況変化も確認しながら積極的にコスト縮減を図っていく。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図	<p style="text-align: center;">中部横断自動車道 吉原JCT～増穂</p>					

供用中はH15年度供用予定を含む。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

（バックデータ等についてはインターネットで公開）